

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「インドのウォーレン・バフェットからのアドバイス」

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今回は「インドのウォーレン・バフェット」と異名をとる投資家、ラケシュ・ジュンジュンワラ氏（61 写真）の最近の交流会での発言をご紹介します。

○ 市場を予測することについて

“Nobody can predict weather, death, market and women. Market is like a woman, always commanding, mysterious, uncertain and volatile. You can never really dominate a woman and likewise you cannot dominate the market” . (天気、死、市場、そして女性は誰も予測できない。市場は女性のように、いつも強い立場にいて、神秘的で、不確かで、気まぐれだ。女性を実際には支配できないように、市場を支配することなどできない。)

○ インドの将来について

“If you see history, all prosperous societies carry two qualities: skilled and hard-working people and a democracy. We have both. India’s GDP is going to grow at 10% by financial year 2025-26” . (歴史を見れば繁栄した社会には二つの特質があることが分かる。熟練した勤勉な人々、そして民主主義だ。我々には両方ある。インドの経済は 2025～26 会計年度までに 10%成長するであろう。)

○ インドの不動産について

“The IT industry will employ 5million more employees in the next 5years and there would be demand for 5million houses. The urbanization in India is half of China’s, and as urbanization comes , housing demand has to come” . (IT 産業は次の 5 年間に 5 百万人の新規雇用を生み出すだろう。そして、5 百万戸の住宅が必要になる。インドの今の都市化は中国の半分に過ぎない。これからのインドでは都市化が進むに連れ住宅需要が盛り上がるに違いない。)

氏は、インドの株価指数が約 150 ポイントだった 1985 年頃に株式投資を始め巨万の富を築きました。現在の指数は 55,000 ポイントを超えています。投資の知恵と歴史観そしてインド経済の発展が彼を大きな成功に導いたようです。



純資産は6,000億円を超え、慈善家としても名高いジュンジュンワラ氏